

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 160-8309  
 住 所 東京都新宿区西新宿1-8-3  
 氏 名 小田急電鉄株式会社  
 取締役社長 星野 晃司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	小田急電鉄株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区上麻生1-4-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業、郵便業
	中分類	42	鉄道業
主たる事業 の内容	鉄道を使用した旅客輸送の運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,065	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>

## (第2面)

計画期間及び報告年度	2016年度～2018年度 (報告年度 2018年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取組みについては、環境報告書に記載しホームページにて公表しています。 <a href="https://www.odakyu.jp/company/socialactivities/environment_report/">https://www.odakyu.jp/company/socialactivities/environment_report/</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 9,153 t-CO <sub>2</sub> (調) 9,001	(実) 8,697 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,553	(実) 8,396 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,257	(実) 8,124 t-CO <sub>2</sub> (調) 7,990	(実) 8,881 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 5.0 % (調) 5.0	(実) 8.3 % (調) 8.3	(実) 11.2 % (調) 11.2	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位		t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値	
排出量原単位等の値	0.07316	0.06867	0.06654	0.06439	0.07099	
削減率		6.1 %	9.0 %	12.0 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	前計画期間に引き続き、照明のLED化などの省エネ機器の積極的な導入や空調機の温度管理を適切に行ったほか、従業員や核テナントに対し節電協力の取り組みの啓発を行ったことにより、基準年度に対し排出原単位を5.1%削減することができた。
第2年度	第1年度に引き続き、照明のLED化・省エネ機器への更新を進めた結果、基準年度に対し排出原単位を8.1%削減することができた。
第3年度	第3年度は、照明のLED化やエアコン・冷却塔の更新などにより、基準年度に対して排出原単位を12.0%削減し、目標年度の値を下回ることができた。 本計画期間では、CO <sub>2</sub> 排出量を8,881t-CO <sub>2</sub> まで削減することを目標に掲げ、新百合ヶ丘エルミロードでは、空調機のインバータ制御や館内照明のLED化などの更新のほか、エネルギー使用量の把握に努めた結果、CO <sub>2</sub> 排出量を11.2%削減することができた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	1. 推進体制の整備 2. 空気調和の管理 3. 照明設備の更新 4. 業務用機器の効率管理 5. 主要設備の保守管理 6. 高効率受変電設備の導入 7. エネルギー使用量等の把握、計測等の管理 8. 断熱性、再生可能エネルギーの利用等
	第 1 年度	2. 空調機器の改修 ・空調機のインバーター制御を導入した。(新百合ヶ丘エルミロード) 3. 照明設備の更新 ・館内照明のLED化を進めた。(新百合ヶ丘エルミロード) 4. 事務用機器の対策 ・不要時の電源切断、停電モードの設定や定期的な保守点検を実施した。(新百合ヶ丘エルミロードほか) 7. エネルギー使用量等の把握、計測等の管理 ・環境負荷データ集計サービス(全事業所)
	第 2 年度	3. 照明設備の更新 ・館内外照明のLED化を進めた。(新百合ヶ丘エルミロード) 4. 事務用機器の対策 ・不要時の電源切断、停電モードの設定や定期的な保守点検を実施した。(新百合ヶ丘エルミロードほか) 7. エネルギー使用量等の把握、計測等の管理 ・環境負荷データ集計サービス(全事業所)
	第 3 年度	3. 照明設備の更新 ・照明器具交換時はLED化を必ず実施した。(新百合ヶ丘エルミロード) 4. 事務用機器の対策 ・不要時の電源切断、停電モードの設定や定期的な保守点検を実施した。(新百合ヶ丘エルミロードほか) 7. エネルギー使用量等の把握、計測等の管理 ・環境負荷データ集計サービス(全事業所)
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	



4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	他の者の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組みを行っていますが、定量化できる取組みはありません。
第1年度	定量化できる取組みはありません。
第2年度	定量化できる取組みはありません。
第3年度	定量化できる取組みはありません。

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グリーン購入の推進</li> <li>2 廃棄物の減量化・分別化の推進</li> </ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グリーン購入の推進 再生紙の購入を推進しています。</li> <li>2 廃棄物の減量化・分別化の推進 廃棄物の減量を図るため、リユース・リデュース・リサイクルに取り組んでいる。 当社施設からの廃食油をリサイクルし、手洗い石けんとして使用している。</li> </ol>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グリーン購入の推進 再生紙の購入を推進しています。</li> <li>2 廃棄物の減量化・分別化の推進 廃棄物の減量を図るため、リユース・リデュース・リサイクルに取り組んでいる。 当社施設からの廃食油をリサイクルし、手洗い石けんとして使用している。</li> </ol>
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 グリーン購入の推進 再生紙の購入を推進しています。</li> <li>2 廃棄物の減量化・分別化の推進 廃棄物の減量を図るため、リユース・リデュース・リサイクルに取り組んでいる。 当社施設からの廃食油をリサイクルし、手洗い石けんとして使用している。</li> </ol>

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	7,680	t-CO <sub>2</sub>
(調)	7,484	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
新百合ヶ丘エルミロード	川崎市麻生区上麻生 1-4-1	6911	貸事務所業	3,542 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
アコルデ北館	川崎市麻生区万福寺 1-17-1	6911	貸事務所業	1,161 t-CO <sub>2</sub>
小田急 ICT センター	※※※	4200	主として管理事務を行う本社等	1,068 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k <sub>l</sub> 未満	
300～400k <sub>l</sub> 未満	
200～300k <sub>l</sub> 未満	3
100～200k <sub>l</sub> 未満	1
100k <sub>l</sub> 未満	5

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--